

働き方に対する職員の意識改革に取り組んだ実践

白川村立白川郷学園

1. 実践の背景

昨年度の勤務状況調査の結果、80時間を超えて時間外勤務をしていた職員は多い月で8名、時間外勤務の平均はほとんどの月で50時間を超えており、本校職員の勤務時間過多の状況が明らかとなった。この状況を打破していくために、学校の運営組織の中に、教頭・事務職員・養護教諭で組織される働き方改革・メンタルヘルス委員会を立ち上げ、働き方改革を進めていくことにした。チェックシートによる分析をもとに以下のような実践を行った。

2. 実践の内容（点検項目）

- (1) 諸会議、打合せの見直し（点検項目③）
 - ・会議時間の明示とチャットワークによる打ち合わせ時間の短縮
- (2) 校内研究、研修の進め方の見直し（点検項目④）
 - ・初任者研修校内研修を活用した若手職員のスキルアップ研修
- (3) 業務の見直し（点検項目⑤）
 - ・「毎週水曜日ノー残業デー」と「10分早帰り運動の実施」
- (4) その他（点検項目⑦）
 - ・清潔な執務環境の維持と収納場所の見える化の取組
 - ・スマイルヘルスプログラムの実施

3. 評価計画

- ・職員会議冒頭で終了時間を確認し見届け（隔月）
- ・業務連絡がチャットワークで流れているか見届け（毎日）
- ・初任者研修校内研修に若手職員が参加しているか見届け（毎月）
- ・時間外勤務記録簿による見届け（毎週）
- ・管理職による見届け（毎週）
- ・スマイルヘルスプログラム取組カードによる見届け（毎月）

4. 評価結果

(1) について

- ・職員会議の平均時間 取組前：約2時間 ⇒ 取組後：約1時間30分

(2) について

- ・若手職員が初任者研修校内研修に参加した回数：11回

- ・初任者研修校内研修に参加した若手職員延べ人数：44人

(3) について

◇職員一人あたりの月平均時間外勤務時間（1時間未満は切り捨て）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12
R2平均時間	38	30	49	43	21	42	45	42	45
R1平均時間	53	51	68	49	データなし	54	51	71	59

◇80時間を超えて時間外勤務をしていた職員数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12
R2人数	2	0	1	1	0	0	0	0	0
R1人数	4	2	0	0	0	0	0	8	4

◇45時間を超えて時間外勤務をしていた職員数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12
R2人数	8	4	6	8	0	8	5	4	5

※R1のデータなしのため記載せず。

(4) について

- ・スマイルヘルスプログラムに取り組んだ職員数：24人
(毎日実施：2人 毎月実施：6人 隔月実施：16人)

5. 成果と課題

(1) 成果

- ・働き方に対する職員の意識に変化が生まれ、少しでも効率的に仕事をし、早く帰ろうとする職員の姿が見られるようになった。
- ・若手職員が初任者と一緒に校内研修を受けることで、職員研修の効率化が図られただけでなく、メンター意識がうまれつつある。
- ・職員の自分自身の健康管理や健康増進についての意識が高まり、職員同士で楽しみながら運動に取り組む姿が見られるようになった。

(2) 課題

- ・昨年度までに比べて、職員の働き方に対する意識は高まった。月の時間外勤務が80時間を超えて勤務している職員は8月以降いなくなったものの、月の時間外勤務が45時間を超える職員が一定数いるため、さらなる職員の意識改革と管理職を中心とした取組を進めていく必要がある。